

授業計画(シラバス)

科目名	サービス接客 I		指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	3 単位	総時間	45 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 サービス接客実務検定3級の合格を目指す。				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト3級」「サービス接客検定実問題集3級」				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内で行う練習問題の復習をすること。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト/プリント 準備 サービススタッフの基本を考える		
	2	一般常識	テキスト/プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け		
	3	一般常識	テキスト/プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック		
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト/プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている		
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト/プリント 準備 適切な判断と表現を、心得ている		
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト/プリント 準備 身だしなみを心得ている		
	7	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる		
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる		
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 清潔感について、理解できる		
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト/プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる		
	12	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	13	前期試験	試験問題		
	14	試験フィードバック	テキスト/期末試験問題 準備		
	15	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	サービス接客 I	指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有	
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:	
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 2 時間	
学習到達目標	相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 サービス接客実務検定3級の合格を目指す。			
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。			
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト3級」「サービス接客検定実問題集3級」			
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。授業内で行う練習問題の復習をすること。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計 画 後 期	1	一般知識 社会常識	テキスト/プリント 準備 社会常識が理解できる	
	2	確認テスト	テキスト/確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック	
	3	対人技能 人間関係	テキスト/プリント 準備	
	4	対人技能 接客知識	テキスト/プリント 準備	
	5	対人技能 話し方	テキスト/プリント 準備	
	6	実務技能	テキスト/プリント 準備	
	7	後期試験	テキスト/プリント 準備	
	8	接客マナーのまとめ	テキスト/プリント 準備	
	履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表メイクアップアーティスト実務経験38年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	4 単位	総時間	60 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級・2級取得を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。				
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト、筆記用具		
	2	PART 1 間違えがちな美容知識をチェック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.22～37		
	3	PART 1 間違えがちな美容知識をチェック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.38～49		
	4	PART 2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.52～59		
	5	PART 2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.60～69		
	6	肌の構造	表皮・真皮・皮下組織		
	7	肌の構造	皮膚のしくみとターンオーバー		
	8	肌の構造	皮膚の機能		
	9	PART 3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.72～75		
	10	肌タイプと見分け方	肌タイプと見分け方		
	11	PART 3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.76～83		
	12	肌悩みの原因とお手入れ	乾燥・ニキビ・毛穴		
	13	肌悩みの原因とお手入れ	しみ・くすみ		
	14	肌悩みの原因とお手入れ	くま・しわ・たるみ		
	15	PART 3 メイクアップの基本テクニック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.94～103		
	16	ファンデーション フェイスパウダー	色選びと付け方		
	17	ハイライト&シェーディング	基本の入れ方 顔型別の入れ方		
	18	アイメイク	眉・アイシャドウ・まつ毛・アイライン		
	19	チーク・口紅	チークの基礎知識・口紅の正しい塗り方と形		
	20	肌悩みに応じた化粧品の使い方	トラブル別テクニック		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表メイクアップアーティスト実務経験38年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	4 単位	総時間	60 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級・2級取得を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。				
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2級・3級対策テキスト				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.112～119		
	2	肌の劣化	外的要因・内的要因・ストレス・ホルモン		
	3	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.120～125		
	4	紫外線の影響	紫外線・サンケア指数		
	5	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.126～130		
	6	マッサージ	効果的なマッサージ・リンパ		
	7	PART 4 美肌・美ボディー生活を送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.132～139		
	8	美しい肌を作る生活習慣	睡眠・食事・運動・入浴		
	9	検定試験対策	練習問題		
	10	テスト	確認テスト		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション画	指導担当者名	大坂 美智子
実務経験	デザイナー・イラストレーター 実務経験1年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コピックの技法や絵を学び、絵力を高める ・ファッションイラストを学びTシャツやグッズデザインに活かす ・創造力を高める 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	文化学園大学 ファッションデザイン学講座「ファッション画」		
授業外学習 の方法	ポートフォリオを作成する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介/授業内容/目的
	2	コピック解説	使い方と注意点
	3	コピック解説	塗り絵
	4	アナログ実習	ファッションイラスト(食べ物編)
	5	アナログ実習	実習発表
	6	アナログ実習	ファッションイラスト(動物編)
	7	アナログ実習	実習発表
	8	アナログ実習	ファッションイラスト(金属・アクセサリ編)
	9	アナログ実習	実習発表
	10	アナログ実習	ファッションイラスト(ブランドファッション編)
	11	アナログ実習	実習発表
	12	アナログ実習	イベントグッズデザイン
	13	前期期末課題	期末課題提出(イベントグッズデザイン)
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション画	指導担当者名	大坂 美智子
実務経験	デザイナー・イラストレーター 実務経験1年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コピックの技法や絵を学び、絵力を高める ・ファッションイラストを学びTシャツやグッズデザインに活かす ・創造力を高める 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	文化学園大学 ファッションデザイン学講座「ファッション画」		
授業外学習 の方法	ポートフォリオを作成する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ファッション画制作	デザイン構成
	2	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	3	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	4	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	5	ファッション画制作	ファッション画作品製作
	6	卒修展作品制作	デザイン構成
	7	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	8	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	9	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	10	卒修展作品制作	卒修展作品制作
	11	後期期末課題	卒修展作品完成・発表
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク I	指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南	
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年		実務経験:	①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間	週時間数 3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定3級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。			
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3・2級テキスト LedomメイクBOX			
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	「メイクアップの前に」	・メイクキットの検品・メイクアップの道具手入れ・基本のセッティング例デモスト 説明	
	2	「メイクアップの前に」	・モデルのセッティング例デモスト 説明・技術者の身だしなみ・スタンス・道具の持ち方デモスト	
	3	「メイクアップの前に」	・メイクアップの仕事～3級試験概要説明(授業目標値)	
	4	「スキンケア①」	・スキンケアの順序・スキンケア化粧品目的、特徴・皮膚・表情筋・顔の名称	
	5	「スキンケア②」	・化粧水・美容液・乳液テクニック復習(手順を覚える) (セッティング後 実習50分)	
	6	「スキンケア③」	・スキントイプと肌の状態・化粧水・美容液・乳液テクニックトータルチェック	
	7	「スキンケア④」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践(ティッシュ、綿棒の使いこなし的確な添え手のポイント)	
	8	「スキンケア⑤」	・ポイントクレンジング・クレンジング実践 トータルチェック (実習50分)	
	9	「スキンケア⑥」	・スキンケアテクニックトータルレッスン (実習50分)	
	10	「ベースメイク①」	・ベースメイク化粧品の目的、特徴・ベースメイクの順序 (座学20分)	
	11	「ベースメイク②」	・骨格・肌色(座学20分)・ファンデーション～パウダー 実践 ハンドテクニック・スポンジ・パフテクニック	
	12	「ベースメイク③」	・ファンデーション～パウダー復習(セッティング後 実習50分)	
	13	「ベースメイク④」	・ベースメイクの質感・肌トラブルとメイクアップ(座学15分)・コントロールカラー～ファンデーション	
	14	「ベースメイク⑤」	・ファンデーション～コンシーラー～パウダー 実践(セッティング後 実習50分)	
	15	「ベースメイク⑥」	・ベースメイクトータルレッスン(実習50分)	
	16	「トータルレッスン①」	・化粧水・美容液～ベースメイクトータルレッスン(実習50分)	
	17	「トータルレッスン②」	・ポイントクレンジング～ベースメイクトータルレッスン(実習50分)	
	18	「顔分析①」	・顔分析理論・修整理論・ハイライト・ローライト・チークの効果(座学50分)	
	19	「顔分析②」	・ファンデーション～パウダー・ハイライト・ローライト・チーク(実習50分)	
	20	3級実技試験内容	・3級 試験 テーブルセッティング 注意事項説明 事前審査 実技試験 30分 審査	
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	メイク I	指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南	
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年		実務経験:	①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間	週時間数 3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定2級合格を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。			
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定3,2級テキスト LedomメイクBOX			
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	「ポイントメイク」	・2級試験の指定項目のデモンストレーション	
	2	「アイブロウ①」	・アイブロウの基礎知識・アイテム・基本の描き方・アイブロウテクニック	
	3	「アイカラー①」	・アイカラーの基礎知識・アイテム・基本のアイカラーの入れ方・基本のアイカラー ブラシテクニック	
	4	「アイライン①」	・アイラインの基礎知識・アイテム・基本のアイラインの入れ方・基本のアイラインテクニック(ペンシル)	
	5	「アイライン②」	・基本のアイラインテクニック(リキッド)	
	6	「ビューラー&マスカラ」	・ビューラー・マスカラの基礎知識・アイテム・基本の使い方・基本のビューラー・マスカラテクニック	
	7	「アイメイクトータルレッスン①」	・アイブロウ、アイメイクトータルレッスン	
	8	「リップ」	・リップの基礎知識・アイテム・基本のリップの描き方・リップテクニック	
	9	「ベーシックポイントメイク」	・アイブロウ・アイメイク・チーク・リップ	
	10	「ポイントメイクトータルレッスン①」	・試験課題を意識した、ポイントメイクレッスン	
	11	「顔の分析」	・基本のプロポーション・個性の分析・バランスの分析・メイクプラン	
	12	「ベースメイク」「顔の分析・フルメイク①」	・ベースメイクテクニック(ブラシテクニック)・基本のプロポーションに近づけるフルメイク	
	13	「錯覚とメイクアップ」	・線の錯覚・直線と曲線・半顔メイク実践・色の錯覚・色彩とメイクアップ	
	14	「模擬試験レッスン①」	模擬試験①	
	15	「模擬試験レッスン②」	模擬試験②	
	16	「模擬試験レッスン③」	模擬試験③	
	17	2級実技試験	試験時間50分	
履修上の留意点				
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。				

授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学	指導担当者名	村上 成美
実務経験	エステティシャン実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	8 単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける。 日本エステティック試験センター筆記試験合格に向けた学びを目標とする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テストを総合評価する。		
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	ビューティ学とは
	2	エステティック概論	エステとマッサージの違い
	3	エステティック概論	内面からきれいにする考え方
	4	解剖生理学	人体とは
	5	解剖生理学	骨格系
	6	解剖生理学	筋肉系
	7	解剖生理学	消化器系
	8	皮膚科学	皮膚の構造
	9	皮膚科学	生理機能
	10	皮膚科学	肌診断(4種類の肌)
	11	運動生理学	運動の必要性
	12	運動生理学	筋肉・呼吸器・循環器と運動
	13	期末テスト	期末試験
	14	カウンセリングシート	アドバイス
	15	運動生理学	カウンセリングシート作成
	16	解剖生理学	人体とは 細胞・組織・器官
	17	解剖生理学	構造とメカニズム
	18	解剖生理学	骨格系・筋系
	19	解剖生理学	消化器系 呼吸器系
	20	解剖生理学	循環器系 心臓・血管
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学	指導担当者名	村上 成美
実務経験	エステティシャン実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	8 単位	総時間	120 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける。 日本エステティック試験センター筆記試験合格に向けた学びを目標とする。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テストを総合評価する。		
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	解剖生理学	内分泌系
	2	解剖生理学	血液
	3	解剖生理学	ホルモン
	4	解剖生理学	免疫系
	5	解剖生理学	神経系
	6	解剖生理学	感覚器
	7	解剖生理学	泌尿器・生殖器
	8	皮膚科学	肌分析
	9	確認テスト	筆記試験
	10	テストの解説	解答解説
	11	皮膚科学	肌分析(相モデル)
	12	皮膚科学	肌トラブルの原因
	13	皮膚科学	シミ
	14	皮膚科学	老化
	15	皮膚科学	敏感肌
	16	皮膚科学	アトピー
	17	化粧品学	化粧品の定義
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学Ⅱ		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表メイクアップアーティスト実務経験38年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	日本化粧品検定1級取得を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。				
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定1級対策テキスト				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	PART 1 化粧品の歴史	テキスト使用		
	2	PART 2 原料と基礎知識	化粧品の原料について		
	3	PART 2 原料と基礎知識	スキンケア化粧品		
	4	PART 2 原料と基礎知識	スペシャルケア、男性肌の特徴		
	5	PART 2 原料と基礎知識	メイクアップ化粧品		
	6	PART 2 原料と基礎知識	ポイントメイクアップ化粧品		
	7	PART 2 原料と基礎知識	ボディ化粧品		
	8	PART 2 原料と基礎知識	毛髪の構造とヘアケア製品について		
	9	PART 2 原料と基礎知識	ネイルの構造について、香りの成分と働き		
	10	PART 2 原料と基礎知識	オーラルケアとケア製品、サプリメントの基礎知識		
	11	テスト	確認テスト		
	12	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品と医薬品医療機器等法、化粧品・薬用化粧品・医薬部外品の効能と効果		
	13	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の広告やPRのためのルール、化粧品の全成分表		
	14	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の安全性を守るためのルール、化粧品を安全に保つために、化粧品と肌トラブル		
	15	PART 3 化粧品にまつわるルール	化粧品の官能評価		
	16	PART 3 化粧品にまつわるルール	主な化粧品成分		
	17	検定対策	過去問題		
	18	検定対策	模擬問題		
	19	期末試験			
	20	まとめ	期末試験の振り返り		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学Ⅱ		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表メイクアップアーティスト実務経験38年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	日本化粧品検定1級取得を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テストを総合評価する。				
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定1級対策テキスト				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	検定対策	過去問題・解答・解説		
	2	検定対策	過去問題・解答・解説		
	3	検定対策	過去問題・解答・解説		
	4	検定対策	過去問題・解答・解説		
	5	模擬試験	模擬試験・解答・解説		
	6	模擬試験	模擬試験・解答・解説		
	7	模擬試験	模擬試験・解答・解説		
	8	試験			
	9	試験解説	自己採点・解説		
	10	まとめ			
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	サービス接遇Ⅱ	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接遇」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接遇実務検定2級・準1級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接遇検定公式テキスト2級」「サービス接遇検定受験ガイド準1級」「サービス接遇検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを備えている
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を心得ている
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている
	7	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について理解できる
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる
	12	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
	13	前期試験	試験問題 準備
	14	試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	15	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を理解できる
	16	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語・経済用語が理解できる
	17	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている
	18	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる
	19	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を理解している
	20	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	サービス接客Ⅱ	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級・準1級の合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定受験ガイド準1級」「サービス接客検定実問題集1-2級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる
	2	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる
	3	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている
	4	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている
	5	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている
	6	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる
	7	実技試験対策	実技試験のデモンストレーション
	8	実技試験対策	実技試験練習
	9	実技試験対策	実技試験練習
	10	実技試験対策	実技試験練習
	11	実技試験対策	実技試験練習
	12	後期試験	試験問題 準備
	13	試験フィードバック	テキスト / 期末試験問題 準備
	14	実務技能 問題処理・環境整備	テキスト / プリント 準備 問題処理、環境整備について理解できる
	15	まとめ	テキスト / プリント 準備 まとめ
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	秘書検定	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場で接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、言葉遣いなどを学ぶ。 ・社会人としての常識・マナーを身に付ける。 ・秘書技能検定2級合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「秘書検定実問題集2級」、成美堂 出版「現役秘書が教える秘書検定2級・3級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 秘書検定とは 導入
	2	マナー・接遇 人間関係と秘書	テキスト / プリント 準備 接遇マナーとは
	3	接遇マナー	テキスト / プリント 準備 身だしなみ・来客応対
	4	接遇マナー	テキスト / プリント 準備 来客応対(上座と下座・お茶の出し方)
	5	敬語・接遇用語	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け
	6	電話応対	テキスト / プリント 準備 電話のマナー
	7	秘書の資質(理論)	テキスト / 確認テスト 準備 求められる良識・身だしなみ
	8	職務知識	テキスト / プリント 準備 機能と役割
	9	組織	テキスト / プリント 準備 ラインとスタッフ・企業とスタッフ
	10	一般知識	テキスト / プリント 準備 財務・法務
	11	一般知識	テキスト / プリント 準備 マーケティング・カタカナ用語
	12	上司と秘書の関係	テキスト / プリント 準備 秘書の業務・PDSサイクル
	13	報告・連絡・相談	テキスト / プリント 準備 報告・連絡・相談の仕方
	14	説得・説明・依頼	テキスト / プリント 準備 説得・説明・依頼の仕方
	15	聞き方の基本	テキスト / プリント 準備 命令・指示・忠告を受ける際の聞き方
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	秘書検定	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの場で接遇というものの具体的な考え方、行動の仕方、言葉遣いなどを学ぶ。 ・社会人としての常識・マナーを身に付ける。 ・秘書技能検定2級合格を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「秘書検定実問題集2級」、成美堂 出版「現役秘書が教える秘書検定2級・3級」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行う練習問題の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	交際業務	テキスト / プリント 準備 慶事・弔事・贈答(上書き・水引)
	2	パーティ・会議の知識	テキスト / プリント 準備 会議の形式・種類
	3	文書作成	テキスト / プリント 準備 社内・社外文書
	4	文書取扱い・郵便知識	テキスト / プリント 準備 時事問題の理解
	5	グラフ作成	テキスト / 確認テスト 準備 グラフの種類
	6	オフィス機器・事務機器・ファイリング	テキスト / プリント 準備 資料整理・環境管理
	7	検定の振り返り	テキスト / プリント 準備
	8	まとめ	
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ		
授業外学習 の方法	予習復習をし、過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	結婚とは	婚姻の要件、日本の結婚状況
	3	県内の結婚式の特徴(ゼクシィ)	各エリアに合わせた形式
	4	県内の結婚式の特徴(ゼクシィ)	結婚に関する風習・いわれ
	5	ブライダル業種(県内)	ホテル、レストラン等
	6	ブライダル業種(県内)	ホテル、レストラン等
	7	ブライダル業種(県内)	結婚式場
	8	ブライダル業種(県内)	結婚式場
	9	ブライダルの基本	見合いと婚約
	10	ブライダルの基本	結納、結婚式
	11	結婚式	司会の進め方
	12	結婚式	結婚式場の内情
	13	結婚式	人前結婚式
	14	結婚式の小物	小物の種類
	15	結婚式の小物	小物の種類
	16	結婚式の小物	ウエディング小物作成
	17	結婚式の小物	ウエディング小物作成
	18	欧米の結婚式	ヘアメイク・ネイルの違い
	19	海外のウエディング	式場・アテンド・流れの違い
	20	まとめ	
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル論 I	指導担当者名	齋藤 智賀子
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	ブライダルの基礎知識を学習し、ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ		
授業外学習の方法	予習復習をし、過去問題を繰り返し解く。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	結婚式DVD鑑賞	衣装コーディネーター
	2	コーディネーター業務	ブライダルセールスの特徴
	3	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務
	4	コーディネーター業務	プレゼンテーションの手法・制約業務
	5	手配業務	衣装・ヘアメイク・演出の手配
	6	手配業務	引き出物・引き菓子
	7	手配業務	記録・記念アイテム・花の手配
	8	手配業務	役割・進行表
	9	手配業務	アテンド業務・テーブルセッティング
	10	手配業務	サービス業務・花の管理
	11	レストラン業務(配膳)	ドリンク、デザート
	12	レストラン業務(配膳)	料理サービス
	13	期末テスト	現状まとめ
	14	検定対策	過去問プリント
	15	検定対策	過去問プリント
	16	検定対策	過去問プリント
	17	検定対策	過去問プリント
	18	検定試験	検定受験
	19	検定振り返り	検定問題自己採点
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I		指導担当者名	齋藤 智賀子	
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ				
授業外学習 の方法	テキストを読む。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	自己紹介ウエディングプランナーのお仕事	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	2	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	3	今時の結婚式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	4	結婚式場の種類と挙式スタイル	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	5	婚約から式場決定までのプロセスプランナーの役割	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	6	家族・親族の間柄ゲストリストを作る	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	7	家族・親族の間柄ゲストリストを作る	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	8	招待状の文面の種類とルール	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	9	自習:演出を調べる	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	10	BFW打合せ① <カウンセリング1>	企画・運営を考えプランニングする		
	11	BFW打合せ① <カウンセリング2>	企画・運営を考えプランニングする		
	12	BFW打合せ②企画・提案	プレゼンテーションで企画を提案する		
	13	顧客満足度を上げる接客と打ち合わせ	企画・運営を考えプランニングする		
	14	BFW打合せ③ <スケジュール・カウンセリング2・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	15	BFW打合せ④ <スケジュール・カウンセリング3・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	16	BFW打合せ⑤ <スケジュール・カウンセリング4・招待状>	企画・運営を考えプランニングする		
	17	挙式	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	18	ガーデンセレモニー	ブライダルコーディネーターテキスト、資料を使いレポートをまとめる		
	19	模擬結婚式	企画・運営を考えプランニングする		
	20	まとめ	前期授業の振り返りをする		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダル実務 I		指導担当者名	齋藤 智賀子	
実務経験	ウエディングプランナー実務経験22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	ブライダル業界への就職を目指して、ウエディングプランを立てることができる。 ブライダルに関係する知識を身に付ける。 実践的な授業を通して、結婚式までの準備や当日の運営を学ぶ。				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	BIAブライダルコーディネーターテキスト<エキスパート>、ゼクシィ				
授業外学習 の方法	テキストを読む。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	披露宴企画	挙式披露宴の流れ		
	2	披露宴企画	進行台本の作成		
	3	ペーパーアイテムとは	招待状の基礎知識		
	4	ペーパーアイテムとは	テーブルプラン		
	5	ペーパーアイテムとは	ペーパーアイテム		
	6	市場調査と婚礼ビジネス	婚礼市場調査		
	7	市場調査と婚礼ビジネス	ランキング作成		
	8	パッケージと販売促進	販売促進		
	9	パッケージと販売促進	広告媒体の実例		
	10	パッケージと販売促進	ブライダルフェア		
	11	まとめ	後期授業の振り返りをする		
	12	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	13	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	14	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	15	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	16	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	17	BFウエディング	結婚式に向けての準備		
	18	BFウエディング	リハーサル		
	19	BFウエディング	本番		
	20	まとめ	反省会(担当ごとに発表をする)		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネート I	指導担当者名	①海野あずみ ②舞木克奈子
実務経験	①美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年 ②なし		実務経験: ①有 ②無
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・2年次に受験するWBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム		
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る。画像検索。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 授業の進め方
	2	自分の着たいドレスを見つけよう	着たいドレス検索
	3	ドレスの種類	ライン(シルエット)
	4	ドレスの種類	ライン別マップ作成 Aライン 雑誌を準備
	5	ドレスの種類	ライン別マップ作成 プリンセスライン 雑誌を準備
	6	ドレスの種類	ライン別マップ作成 ドームライン 雑誌を準備
	7	ドレスの種類	ライン別マップ作成 マーメイドライン 雑誌を準備
	8	ドレスの種類	ライン別マップ作成 スレンダーライン 雑誌を準備
	9	ドレスの種類	ライン別マップ作成 エンパイヤライン 雑誌を準備
	10	ドレスのデザインディテール	名称と種類
	11	ドレスの素材と装飾	名称と種類
	12	テスト	確認テスト
	13	ドレスのサイズ	衣装企業への見学とレクチャー
	14	ベール、グローブ、シューズ	衣装企業への見学とレクチャー
	15	ヘッドドレス、ネックレス、イヤリング、その他	衣装企業への見学とレクチャー
	16	ブライダルブーケ	ブーケの種類
	17	ブライダルブーケ	ブーケの種類別マップ作成
	18	フィッティング小物	ブライダルインナー、パニエ、アンダーウェア
	19	花嫁ドレストータルコーディネート	衣装企業への見学とレクチャー
	20	まとめ	レポート
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネート I		指導担当者名	①海野あずみ ②舞木克奈子	
実務経験	①美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年 ②なし			実務経験:	①有 ②無
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・2年次に受験するWBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム				
授業外学習 の方法	ウエディング雑誌を見る。画像検索。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	和装	和装の歴史、着物の生地と意匠		
	2	和装	花嫁衣装の種類と各部位の名称		
	3	和装	和装小物		
	4	新郎の衣装	洋装の種類と各部位の名称		
	5	新郎の衣装	メンズフォーマルウェアのサイズ、アクセサリ		
	6	新郎の衣装	新郎和装		
	7	ドレスフィッティング実習	フィッティング技術		
	8	ドレスに合わせたトータルコーディネート	白ドレス		
	9	ドレスに合わせたトータルコーディネート	カラードレス		
	10	テスト	確認テスト		
	11	参列者の衣装	両親媒酌人夫妻の衣装		
	12	参列者の衣装	その他参列者の衣装		
	13	ドレスの管理・お手入れ	衣装企業への見学とレクチャー		
	14	トレンドのドレス	衣装企業への見学とレクチャー		
	15	トレンドのタキシード	衣装企業への見学とレクチャー		
	16	トレンドの和装	衣装企業への見学とレクチャー		
	17	まとめ	レポート作成		
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション販売論 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売3」、「ファッション販売3 3級公式問題集」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ファッションとは/ファッション販売について
	2	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ファッション小売業の業種・業態
	3	1 ファッション販売知識	テキスト準備 お客様にとって店とは/お客様について
	4	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ライフスタイルショップ
	5	1 ファッション販売知識	テキスト準備 販売スタッフの基本マナー
	6	2 ファッション販売技術	テキスト準備 購買心理の理解/買い物の仕方
	7	2 ファッション販売技術	テキスト準備 接客の基本とコンサルティングセールス
	8	2 ファッション販売技術	テキスト準備 包装/贈答のマナー
	9	3 商品知識	テキスト準備 アイテムの知識/インナーウェアの知識
	10	3 商品知識	テキスト準備 服飾雑貨/素材の種類と加工/シルエットの知識
	11	3 商品知識	テキスト準備 衣服の構成とディテール/柄の種類と特徴
	12	3 商品知識	テキスト準備 色彩と配色の知識
	13	3 商品知識	テキスト準備 サイズの知識
	14	3 商品知識	テキスト準備 商品の品質管理/副資材の種類
	15	3 商品知識	テキスト準備 店舗環境づくり
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション販売論 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売3」、「ファッション販売3級公式問題集」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ECサイト	ECサイトの運営方法、業務内容
	2	インフルエンサーについて	SNSを利用したPR
	3	リーダーシップの作り方	チーム作り
	4	チームビルディング	行動目標の共有
	5	ミーティングのやり方	報告・連絡・相談、モチベーションを上げる
	6	ディベロッパーとのコミュニケーション	営業担当にサポートしてもらう
	7	データ管理と改善力	売上管理、在庫管理
	8	クレーム対応	クレームの電話対応、商品交換
	9	骨格タイプの見分け方	似合う服の提案
	10	コーディネート接客	ニーズを踏まえた提案
	11	試着対応	試着の際の接客
	12	メール対応	メールでのやり取り
	13	電話対応	電話での対応方法
	14	DM	DMの内容、メッセージの書き方
	15	これからのファッション業界について	市場の流れ、デジタル化など
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I	指導担当者名	①村上成美 ②森合美穂 ③近内睦美
実務経験	①エステティシャン実務経験6年 ②エステティシャン実務経験35年 ③エステティシャン実務経験5年 美容部員8年		実務経験: ①有 ②有 ③有
開講時期	前期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	6 単位	総時間	180 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。 実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験を総合評価する。		
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション 身だしなみ・授業について	エステティックについて学ぶ
	2	エステ室の使用の仕方・清掃・洗濯・消毒	実習のマナーを学ぶ
	3	ボディ実技導入・モデルの誘導(セッティング)	マニュアル作成をする
	4	6大手技(軽擦法・強擦法・揉擦法)	相モデルでマッサージを行う
	5	6大手技(打法・圧迫法・振動法)	相モデルでマッサージを行う
	6	6大手技練習	相モデルで実習する
	7	7大手技練習	相モデルで実習する
	8	下肢後面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	9	背中マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	10	下肢前面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	11	腕マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	12	腹部マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える
	13	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握する
	14	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握する
	15	中間テスト ボディ実技	期末試験
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I		指導担当者名	①村上成美 ②森合美穂 ③近内睦美	
実務経験	①エステティシャン実務経験6年 ②エステティシャン実務経験35年 ③エステティシャン実務経験5年 美容部員8年			実務経験:	①有 ②有 ③有
開講時期	後期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	6 単位	総時間	180 時間	週時間数	6 時間
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験を総合評価する。				
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワソワ協会テキスト(実技)				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	純水の作り方・準備物	説明、オリエンテーション		
	2	ポイントクレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	3	ポイントクレンジング・ウィッグで練習	手順の確認テスト		
	4	クレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	5	クレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	6	コットン拭き取り・ホットタオルの拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	7	コットン拭き取り・ホットタオルの拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	8	クレンジング通し	相モデルでクレンジングを行う		
	9	フェイシャルマッサージ	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	10	フェイシャルマッサージ	相モデルでクレンジングを行う		
	11	フェイシャルマッサージ	相モデルでクレンジングを行う		
	12	クレンジング・マッサージ	マニュアルを見ながら練習をする		
	13	クレンジング・マッサージ	マニュアルを見ながら練習をする		
	14	クレンジング・マッサージ	手順を覚えたら見ないで行う		
	15	期末テスト フェイシャル実技	期末試験		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I		指導担当者名	①五十嵐愛 ②大原麻弥	
実務経験	①ネイリスト実務経験15年 ②ネイリスト実務経験11年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
単位数	6 単位	総時間	180 時間	週時間数	6 時間
学習到達目標	ネイルの基礎を学び、ネイリスト技能検定3級、ジェルネイル初級を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。				
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識付けをする		
	2	基礎理論(爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策を行う		
	3	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧を学ぶ		
	4	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニッパーワーク・流れを説明・実習		
	5	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニッパーワーク・流れを説明・実習		
	6	アート	課題アートの描き方を学ぶ		
	7	通し計測	計測		
	8	通し計測	計測		
	9	テスト	3級内容 通し計測を行う		
	10	ジェルネイルの基礎	ジェルとは ドライケアを学ぶ		
	11	カラーリング	ジェルとポリッシュの違いを学ぶ		
	12	アート	ジェルアート(ピーコック)を学ぶ		
	13	カラーリングからアート	通し計測を行う		
	14	通し計測	計測		
	15	ジェル初級検定	検定試験		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I		指導担当者名	①五十嵐愛 ②大原麻弥	
実務経験	①ネイリスト実務経験15年 ②ネイリスト実務経験11年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	6 単位	総時間	180 時間	週時間数	6 時間
学習到達目標	ネイリスト技能検定2級を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。				
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	前期の復習	模擬試験		
	2	2級内容確認	検定の内容を学ぶ		
	3	ネイルチップラップ説明	検定の準備を学ぶ		
	4	ネイルチップラップ説明	溶剤の使用方法を学ぶ		
	5	ネイルチップラップ説明	チップの合わせ方を実践する		
	6	ネイルチップラップ説明	ハンド使用して実践する		
	7	実技前半35分	相モデルで練習する		
	8	実技前半35分	相モデルで練習する		
	9	実技前半35分	相モデルで練習する		
	10	実技前半35分	相モデルで練習する		
	11	期末テスト	期末テスト		
	12	実技後半55分	相モデルで練習する		
	13	実技後半55分	相モデルで練習する		
	14	実技試験通し90分	相モデルで練習する		
	15	ネイリスト検定2級	検定試験		
	16				
	17				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBマーケティング	指導担当者名	大川 翔
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験4年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	WEBマーケティングの基礎から実践までを一貫して学び、実務で活かせる力を養う。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容の復習やまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介/評価方法/授業ルール/授業全体図と目標
	2	WEBマーケティング概論	WEBマーケティングとは/ファッション業界におけるWEBマーケティングの重要性
	3	デジタルマーケティングの基礎	従来型マーケティングとの違い/顧客ジャーニーとタッチポイント/ペルソナ設定方法
	4	グループワーク	自分たちのターゲット顧客のペルソナ作成
	5	WEBサイト分析と設計	ユーザビリティの日本原則/UVUXデザインの重要性/高機能ファッションECサイト状況
	6	グループワーク	好きなファッションサイトの分析とフィードバック
	7	コンテンツマーケティング	コンテンツマーケティング/ファッション業界に効果的なコンテンツ/SEOの基礎
	8	グループワーク	ブランドストーリー作成
	9	SNSマーケティング基礎	各SNSプラットフォームの特性/業界に最適なSNS選び/効果的なSNS運用ポイント
	10	グループワーク	SNS運用プラン作成
	11	インフルエンサーマーケティング	インフルエンサーマーケティングの基礎/業界におけるインフルエンサーの活用
	12	リテイニング広告とディスプレイ広告	PPC広告の仕組み/Google広告の基礎知識/バナー広告の種類と効果
	13	メールマーケティングとCRM	効果的なメールマーケティングの基礎/顧客関係管理(CRM)の基礎
	14	グループワーク	シーズナルキャンペーンのメール企画
	15	中間プロジェクト発表(前期期末課題)	ミニマーケティングプラン作成/グループ発表とフィードバック
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBマーケティング	指導担当者名	大川 翔
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験4年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	WEBマーケティングの基礎から実践までを一貫して学び、実務で活かせる力を養う。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内容の復習やまとめ		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ECサイト運営の基礎	ECサイトの構成要素/各ECプラットフォームの特徴と選び方/在庫管理と配送の基礎
	2	グループワーク	仮想ECサイトの構築計画
	3	ECサイト最適化とCRO	CROの基礎/商品ページの効果的な作り方/写真撮影とスタイリングのポイント
	4	グループワーク	商品ページの改善提案
	5	UGCとコミュニティマーケティング	ユーザー生成コンテンツ(UGC)活用方法/コミュニティの育て方/ブランドアンバサダー
	6	グループワーク	UGCキャンペーンの企画
	7	ソーシャルセリングとライブコマース	InstagramShopping/FacebookShopping/ライブコマースの可能性
	8	グループワーク	ソーシャルセリング戦略の立案
	9	モバイルマーケティングとアプリの活用	モバイルファーストの考え方/アプリマーケティングの基礎/スマホ最適化のコンテンツ
	10	グループワーク	モバイル向けマイクロサイト企画
	11	ブランディングとWEB戦略	デジタル現代のブランディング/一貫したブランドイメージの提案
	12	グループワーク	新規ファッションブランドのブランド戦略
	13	最新トレンドと革新的マーケティング	サステナブルファッションの潮流/AR・VRの活動事例/バーチャルフィッティング
	14	グループワーク	革新的マーケティング企画
	15	最終プロジェクト(後期期末テスト)	実践的マーケティングプランの最終発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザイン I	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレル企画に必要な Illustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる)		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	「これからはじめるIllustratorの本」/「これからはじめるPhotoshopの本」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	基本操作編	Illustratorの基本操作
	2	基本操作編	Illustratorの基本操作
	3	基本操作編	オブジェクトの基本操作
	4	基本操作編	オブジェクトの基本操作
	5	基本操作編	カラー設定の基本
	6	基本操作編	オブジェクト編集
	7	基本操作編	文字編集の基本操作
	8	基本操作編	パスの基本操作
	9	基本操作編	パスの基本操作
	10	応用操作編	オブジェクトの応用操作
	11	応用操作編	オブジェクトの応用操作
	12	応用操作編	カラー設定の応用操作
	13	応用操作編	カラー設定の応用操作
	14	応用操作編	文字編集の応用操作
	15	応用操作編	文字編集の応用操作
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザイン I	指導担当者名	熊田 裕太
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験11年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	アパレル企画に必要なIllustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる)		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	「これからはじめるIllustratorの本」/「これからはじめるPhotoshopの本」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	応用操作編	パスの応用操作
	2	コンテンツ制作編	パスの応用操作
	3	コンテンツ制作編	イラストレーション
	4	コンテンツ制作編	イラストレーション
	5	コンテンツ制作編	ロゴマーク
	6	コンテンツ制作編	ロゴマーク
	7	コンテンツ制作編	Webデザイン
	8	コンテンツ制作編	Webデザイン
	9	コンテンツ制作編	グラフを作成
	10	コンテンツ制作編	グラフを作成
	11	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	12	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	13	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	14	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	15	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	フラワーコーディネート		指導担当者名	萩原 恵望子	
実務経験	花屋・フラワーコーディネーター実務経験12年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
単位数	1 単位	総時間	30 時間	週時間数	2 時間
学習到達目標	花の知識や技術を習得することにより、知識や見識が広がり、表現方法や想像力を身につけることができる。就職後も、その広い視点をいかし対応できる能力を養う。また、心に潤いを与える美的情操の科目として豊かな人間性を養うことを目的とする。				
評価方法 評価基準	授業態度、製作物の取り組み方、完成度、レポート等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	ウエディング雑誌				
授業外学習の方法	作品のレポートまとめ。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	花の名前や種類、他已紹介	今まで意識のなかった花へ意識を向けさせる		
	2	ブリザーブドフラワー	プチギフトとして提案もできるアレンジ製作		
	3	ウエディングでの花の役割	ブーケやテーブル装花の種類を調べる		
	4	ウエディングでの花の役割	コーディネートマップ作成		
	5	ハーバリウム	名札立てなどにも応用がきくアレンジ製作		
	6	つくりりボン、アートフラワー	様々な場面で役立つ作りりボンを学ぶ		
	7	ハーバリウム上級編	アクリル樹脂の扱いなども学ぶ		
	8	生花のアレンジメント	生花の切り方、扱い方などを学び日常にいかす		
	9	ウエディングブーケのデザイン	ブーケの形や作り方を学ぶ		
	10	テーブル装花やその他の小物	ヘアオーナメントやその他の花の役割		
	11	グループにて1 アレンジ製作	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく		
	12	グループにて2 アレンジ発表	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく		
	13	生花のアレンジメント1	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく		
	14	生花のアレンジメント2	他者の意見を取り入れたりかかわりを大切にしながら美意識を高めていく		
	15	まとめ	フラワーコーディネート作品作成		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	6 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス3」/項目別試験問題集/資料配布		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性
	2	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識
	3	繊維ファッション産業の流れ	テキスト準備 繊維ファッション産業の流れ 等
	4	繊維について	県内特有の繊維(川俣シルク)とは
	5	課外授業	繊維工場の見学 / 織物体験(川俣シルク) / レポート作成・提出
	6	第1章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	7	第2章 ファッション消費と消費者行動	テキスト準備 消費者行動とファッション表現 等
	8	ライフスタイルとファッション	テキスト準備 ライフスタイルとは 等
	9	お客様の購買行動	テキスト準備 お客様・顧客 / 購買行動 等
	10	第2章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	11	第2章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	12	第3章 アパレル産業と小売産業	テキスト準備 アパレル産業の概要 等
	13	ファッション小売産業の概要	テキスト準備 小売企業とは / 百貨店 / 量販店 / 専門店 等
	14	試験フィードバック/第3章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説
	15	期末試験	テキスト / 試験問題 準備
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論 I	指導担当者名	舞木 克奈子
実務経験	アパレル企業実務経験9年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	6単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス3」/項目別試験問題集/資料配布		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性
	2	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識
	3	第2章 ファッションコーディネーション	テキスト準備 1.コーディネート基礎知識、2.ファッションスタイリング
	4	第2章 ファッションコーディネーション	テキスト準備 3.ビジネスにおけるスタイリング提案、4.ディスプレイ知識
	5	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 1.アパレルアイテムの知識
	6	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 2.シルエットの知識、3.ディテールの知識
	7	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 4.品質・品質表示の知識、5.サイズの知識
	8	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 6.繊維・糸の知識、7.織物の知識
	9	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 8.染色の知識、9.ニットの知識
	10	第4章 ファッションデザイン	テキスト準備 1.デザイン画と製品図の理解、2.デザインと機能
	11	第4章 ファッションデザイン	テキスト準備 3.色彩基礎知識、4.柄の知識
	12	第5章 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備 1.服飾造形に関する基礎知識
	13	第5章 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備 2.パターンに関する基礎知識、3.アパレル製造の基礎知識
	14	後期試験	テキスト / 試験問題 準備
	15	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー	指導担当者名	小池 久子
実務経験	カラーコーディネート実務経験14年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	45 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 プライダル業界において通用するカラーの知識を身に付ける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	はじめてのパーソナルカラー パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色カード199a		
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史赤系、橙系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	3	第1章色の種類橙系統 第2章色の仕組みⅠ光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組みⅡ光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史青系、紫系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	7	ファッション概論、プライダル色彩	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	8	肌、皮膚、髪 色と種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	10	第1章色の種類緑系統 第2章色の三属性 CUS色相	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習
	15	テスト	確認テスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ドレスコーディネートⅡ		指導担当者名	海野あずみ	
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
単位数	3 単位	総時間	45 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルに関する衣装についての知識を身に付ける。 ・ドレスやアイテムをトータル的にコーディネートできるようになる。 ・WBJ認定「認定ドレスコーディネーター」取得を目指す。 				
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム				
授業外学習 の方法	テキストを読んでおく。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	授業の流れについて解説		
	2	前期の振り返り	振り返り		
	3	フィッティング技術	名称を学ぶ		
	4	フィッティング実習	フィッティング実務・採寸・対妊婦		
	5	ドレスサロン見学	新郎和装・実物を見る		
	6	列席者の衣装 * 特にモーニング	新郎和装・実物を見る		
	7	ドレスコーディネーターの業務(貸衣裳店)	それぞれのショップの特性と流れ		
	8	ドレスコーディネーターの業務	(セルドレスショップ)(オーダードレスショップ)		
	9	ドレスメンテナンス	(セルドレスショップ)(オーダードレスショップ)		
	10	検定対策	過去問題		
	11	検定対策	過去問題		
	12	検定対策	過去問題		
	13	検定対策	過去問題		
	14	ドレスコーディネーター検定			
	15	まとめ	レポート作成		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメーキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。(ソーイングベーシック・パターンベーシック) ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	第1章 服飾造形の概要	衣服と服飾造形、衣服の分類、衣服制作のプロセス
	2	第2章 服飾造形の概要	衣服製作のための用具
	3	第3章 衣服製作のための人体と計測	衣服制作のための人体について
	4	第3章 衣服製作のための人体と計測	衣服制作のための人体計測
	5	第4章 パターン製作の基礎	平面作図と立体裁断について、原型について
	6	第4章 パターン製作の基礎	平面作図の基礎
	7	第4章 パターン製作の基礎	体型と原型
	8	第4章 パターン製作の基礎	パターン操作法
	9	第5章 衣服素材と付属材料	衣服素材とデザイン、付属材料
	10	第6章 裁断縫製の基礎	使用量の見積もり方、地づめ、地直し、生地を表裏の見分け方
	11	第6章 裁断縫製の基礎	裁断、印付け
	12	第6章 裁断縫製の基礎	布地に合わせた糸、針の選び方
	13	第6章 裁断縫製の基礎	基本縫い・手縫い
	14	第6章 裁断縫製の基礎	ミシン縫いの基本
	15	スカート制作・提出	テキスト準備 提出確認
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルメーキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	学校法人文化学園 文化出版局 発行 「服飾造形の基礎」/「スカート・パンツ」/「ブラウス・ワンピース」		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 後 期	1	スカート(展開デザイン)制作	テキスト準備 スカートの基礎知識の習得
	2	スカート(展開デザイン)制作	テキスト準備 スカートの基礎知識の習得
	3	スカート(裏)制作・発表	テキスト準備 提出確認
	4	第1章 ブラウス	ブラウスについて、ブラウスの名称、デザインと作図
	5	第1章 ブラウス	仮縫い方法と試着補正法
	6	第1章 ブラウス	縫製法
	7	第1章 ブラウス	部分縫い・前立て
	8	第1章 ブラウス	部分縫い・タック
	9	第1章 ブラウス	部分縫い・シャーリング
	10	第1章 ブラウス	部分縫い・スリット
	11	オリジナル制作	縫製確認
	12	オリジナル制作	縫製確認
	13	オリジナル制作	縫製確認
	14	オリジナル制作	縫製確認
	15	提出	提出確認
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3単位	総時間	90時間 週時間数 3時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング3級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	パターンメイキング技能検定ガイダンス	パターンメイキング技能検定とは
	2	パターンメイキング技能検定の内容	衣服製作のための用具
	3	既製服の概念	既製服の基礎知識
	4	既製服の概念	パターンメイキング用語
	5	ファーストパターンメイキング	ファーストパターンメイキングとは 筆記科目
	6	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目
	7	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技1 身頃(縮尺) 理論・製図科目
	8	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技2 えり(縮尺) 理論・製図科目
	9	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技3 えり(縮尺) 理論・製図科目
	10	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技4 スカート(縮尺) 理論・製図科目
	11	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技(実寸) 実技科目
	12	ドレーピングの基礎知識	理論・製図科目
	13	ドレーピングの実技	実技科目
	14	工業パターンメイキング	工業パターンメイキングとは、工業用パターンの記号 理論・製図科目
	15	工業パターンメイキング	工業パターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキング I	指導担当者名	笹原 和加子
実務経験	パタンナー 実務経験22年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。 		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング3級ガイドブック」 ・学校法人文化学園 文化出版局 発行「工業用パターンメイキング」 		
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	グレーディングとは	理論科目
	2	グレーディング実技	実技
	3	グレーディング実技	実技
	4	グレーディング実技	実技
	5	グレーディング実技	実技
	6	素材	素材の知識
	7	素材	理論・製図科目
	8	素材	素材とファーストパターンメイキング
	9	素材	理論・製図科目
	10	検定対策	過去問対策
	11	検定対策	過去問対策
	12	検定対策	過去問対策
	13	検定対策	過去問対策
	14	検定対策	過去問対策
	15	検定対策	過去問対策
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ	指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年		実務経験: ①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	2 単位	総時間	60 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定1級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定1級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	2級内容の振り返り	2級内容と1級内容の違いを説明
	2	「イメージメイク理論」	イメージ分類・イメージに近づくポイントメイクの色・形・質感
	3	「イメージメイク実習①」	キュート・エレガントイメージメイクデザイン
	4	「イメージメイク実習②」	フレッシュ・クールイメージメイクデザイン
	5	「メイクアップの強弱①」	ポイントメイクのイメージ・ポイントメイクのバランス
	6	「メイクアップの強弱②」	アイブロウを強調したメイク
	7	「メイクアップの強弱③」	アイメイクを強調したメイク
	8	「メイクアップの強弱④」	リップを強調したメイク
	9	「メイクアップの強弱⑤」	チークを強調したメイク
	10	「1級試験概要」	試験の内容・試験のポイント・接客マナー
	11	「カウンセリング」	カウンセリングのポイント・カウンセリングシートの活用・カウンセリングロープレ
	12	「スピードスキンケア」	スピードメイクオフ～スキンケア
	13	まとめ	テキスト・メイク用具一式
	14	復習	テキスト・メイク用具一式
	15	期末試験	期末試験
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ	指導担当者名	①佐々木美代子 ②菅野元美 ③柳橋南
実務経験	①美容師実務経験18年 ②美容師実務経験1年 ③美容師実務経験12年		実務経験: ①有 ②有 ③有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	2単位	総時間	60時間 週時間数 3時間
学習到達目標	JMA 日本メイクアップ技術検定1級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	JMA 日本メイクアップ技術検定1級テキスト LedomメイクBOX		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	「要望に応えるフルメイク①」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	2	「要望に応えるフルメイク②」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	3	「要望に応えるフルメイク③」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	4	「要望に応えるフルメイク④」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	5	「要望に応えるフルメイク⑤」	・カウンセリング・フルメイク 30分(実践)
	6	「クロージング」①	・クロージングのポイント・フルメイク～クロージング
	7	「クロージング」②	・クロージングのポイント・フルメイク～クロージング
	8	「クロージング」③	・クロージングのポイント・フルメイク～クロージング
	9	「加齢とメイク」①	・エイジングの変化・メイクでの対応方法
	10	「加齢とメイク」②	・エイジングの変化・メイクでの対応方法
	11	「加齢とメイク」③	・エイジングの変化・メイクでの対応方法
	12	「模擬試験レッスン①」	・1級実技試験内容(1クール 50分)
	13	「模擬試験レッスン②」	・1級実技試験内容(1クール 50分)
	14	「模擬試験レッスン③」	・1級実技試験内容(1クール 50分)
	15	1級実技試験	テーブルセッティング 注意事項説明 カウンセリング～スキンケア 15分 事前審査 実技試験 30分
	16		
	17		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画 I	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習 の方法	授業内での配布資料の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	企画書とはどのようなものか	プリント準備 あなたをつくる企画書があなたの評価を作る 等
	2	企画書とはどのようなものか	プリント準備 優れた企画案と正しい準備で成功の企画書をつくる 等
	3	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方	プリント準備 企画書づくりに必要な変化を読み取るための源情報 等
	4	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方	プリント準備 ビジネスに必要な情報をインターネットから検索してみよう 等
	5	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方	プリント準備 情報分析の第一歩は気づき情報のあらい直しから 等
	6	成功を呼ぶ企画テーマづくり	プリント準備 稀代キーワードを上手く活用して、ヒットの企画書をつくる 等
	7	成功を呼ぶ企画テーマづくり	プリント準備 ターゲットに注目して、時代を先取りする企画テーマをつくる 等
	8	成功を呼ぶ企画テーマづくり	プリント準備 生活向上型の企画テーマも発想の転換でヒットを生み出す 等
	9	受け手をうならせる企画案をつくろう	プリント準備 企画書を生かすも殺すも企画案の出来次第 等
	10	受け手をうならせる企画案をつくろう	プリント準備 ヒットの企画案の基本になるのは商品コンセプト 等
	11	受け手をうならせる企画案をつくろう	プリント準備 クリエイティブな発想でコンセプトを商品化しよう
	12	期末試験	試験問題準備
	13	中間試験フィードバック / 企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 あなたの私的な仮説は「調査」によって、公的な根拠を獲得する
	14	企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 仮説どおりの評価が得られるのか、コンセプトをチェックする 等
	15	企画案のための「調査」のポイント	プリント準備 ターゲットが心惹かれる訴求ポイントが打ち出せているか 等
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画 I	指導担当者名	大島 成也
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験36年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 3 時間
学習到達目標	企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	参考配布資料		
授業外学習の方法	授業内での配布資料の復習。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備 説得力のある企画書には、ビジュアル表現技術は欠かせない 等
	2	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備 企画書づくりに大切なコトバの表現技術を確認しておこう 等
	3	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備 マップを使って、企画の有望性をロジカルに表現しよう 等
	4	パソコン活用の企画書づくり	プリント / PC準備 Power Pointでビジュアルな企画書づくりもこんなに簡単 等
	5	パソコン活用の企画書づくり	プリント / PC準備 プレゼンテーションに便利なスライド一覧や発表者用資料 等
	6	企画を通すプレゼンテーション	プリント / PC準備 綿密な準備がプレゼンテーションを成功させる 等
	7	企画を通すプレゼンテーション	プリント / PC準備 見せ方次第で、プレゼンテーションの成功・不成功が決まる 等
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 情報収集 / 企画テーマづくり 等
	9	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画案の作成 / 企画案の調査 等
	10	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 等
	11	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 等
	12	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 等
	13	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 / プレゼンテーション準備
	14	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備 企画書作成 / プレゼンテーション準備
	15	プレゼンテーション	プリント / PC準備 発表
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エステⅡ(コース選択)		指導担当者名	①森合美穂 ②村上成美	
実務経験	①エステティシャン実務経験35年 ②エステティシャン実務経験6年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
単位数	12 単位	総時間	360 時間	週時間数	12 時間
学習到達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャン(9月)				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。				
使用教材	AEAエステティシャン問題集				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	AEAの説明		
	2	FA実習	フェイシャル技術応用		
	3	FA実習(カウンセリング)	フェイシャルカウンセリングシートの作成(応用)		
	4	皮膚科学	AEA問題集科目別テスト		
	5	BO実習	ボディ実習(応用)		
	6	BO実習(カウンセリング)	ボディのカウンセリングシート作成(応用)		
	7	解剖生理学・心身生理学	テキスト過去問題		
	8	FAマッサージ	フェイシャル実技(応用)		
	9	運動生理学・栄養学	テキスト過去問題		
	10	FAカウンセリング	サロンでの実務的なサービスを学ぶ		
	11	FAクレンジング・パック	サロンでの実務的なサービスを学ぶ		
	12	化粧品学・エステ機器学	テキスト過去問題		
	13	カウンセリング・マネジメント	AEA問題集科目別テスト		
	14	東洋・西洋セラピー	AEA問題集科目別テスト		
	15	まとめ	期末試験		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	エステⅡ(コース選択)		指導担当者名	①森合美穂 ②村上成美	
実務経験	①エステシャン実務経験35年 ②エステティシャン実務経験6年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	12 単位	総時間	360 時間	週時間数	12 時間
学習到達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャン(9月)				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。				
使用教材	AEAエステティシャン問題集				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	生理解剖学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	2	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	3	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	4	栄養学・香粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	5	栄養学・香粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する		
	6	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	7	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	8	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	9	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	10	東洋・西洋のトリートメント	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	11	脱毛学・フェイシャル・ボディ実技理論	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	12	実技試験最終確認	試験対策		
	13	ビューティセラピスト実技試験	検定試験(実技)		
	14	アロマ・リフレ・ネイル・メイク	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習をする		
	15	ビューティセラピスト筆記試験模擬試験	検定試験(筆記)		
	16				
	17				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイルⅡ(コース選択)		指導担当者名	①大原麻弥 ②遠藤淳子	
実務経験	①ネイリスト実務経験11年 ②ネイルサロンオーナー実務経験38年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
単位数	12 単位	総時間	360 時間	週時間数	12 時間
学習到達目標	JNAジェルネイル技能検定中級合格を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。				
使用教材	ジェルネイルテキスト、ジェルネイル用具				
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	ジェル中級検定の確認	ジェル中級検定確認(実技・筆記)		
	2	第一課題について	第一課題ネイルケア・カラーリングの実践		
	3	第二課題について	第二課題ジェルオフについて		
	4	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション		
	5	第二課題について	第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション		
	6	第一第二課題の通しと確認	ポリッシュオフまでの通し		
	7	テスト	ポリッシュオフまでの通し		
	8	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリングデモンストレーション		
	9	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリング実践		
	10	第一第二課題の通しと確認	ジェルフレンチカラーリングまでの通し		
	11	第一第二課題の通しと確認	復習・テスト範囲確認		
	12	第一第二課題の通しと確認	復習と通し・テスト範囲確認		
	13	ジェル中級検定 筆記対策	筆記試験対策		
	14	最終確認テスト	検定前の模擬テスト		
	15	ジェル中級検定	ジェル中級検定		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイルⅡ(コース選択)	指導担当者名	①大原麻弥 ②遠藤淳子
実務経験	①ネイリスト実務経験11年 ②ネイルサロンオーナー実務経験38年		実務経験: ①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	12 単位	総時間	360 時間 週時間数 12 時間
学習到達目標	JNECネイリスト技能検定1級、JNAジェルネイル技能検定上級合格を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。		
使用教材	ジェルネイルテキスト、ジェルネイル用具		
授業外学習 の方法	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ネイル1級検定内容の確認	1級内容の確認とネイルイクステンション スカルプのデモンストレーション
	2	ネイル1級検定内容	ネイルイクステンション チップオーバーレイのデモンストレーション
	3	ネイル1級検定内容	ネイルイクステンションからチップオーバーレイまでを実践
	4	ネイル1級検定内容	ネイルアートのデモンストレーションと実践
	5	ネイル1級検定内容	ネイリスト技能検定1級の通し
	6	ジェル上級検定内容	ジェル上級検定内容確認
	7	ジェル上級検定内容	スカルプのデモンストレーションと実践
	8	ジェル上級検定内容	スカルプのデモンストレーションと実践
	9	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイのデモンストレーションと実践
	10	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイ デザインのデモンストレーションと実践
	11	確認テスト	確認テスト
	12	ジェル上級検定内容	チップオーバーレイ デザインのデモンストレーションと実践
	13	ジェル上級検定内容の通し	通し
	14	ジェル上級検定	ジェル上級検定・期末試験
	15	まとめ	まとめ
	16		
	17		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	セルフビューティ(コース選択) パーソナルカラー		指導担当者名	五十嵐 信子	
実務経験	カラーコーディネーター実務経験15年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
単位数	3 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 美容業界において通用するカラーの知識を身につける。				
評価方法 評価基準	出席率・授業態度・提出課題・試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	はじめてのパーソナルカラー・パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック・新配色カード199a				
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 通 年	1	色と生活 色の種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	2	色の仕組みⅠ 光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	3	色の仕組みⅡ 光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	4	日本の色の歴史	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	5	肌、皮膚、髪色の種類	スタジオでのトレーニング。呼吸法を取り入れながらストレッチを中心とした柔軟トレーニング		
	6	パーソナルカラーの特徴	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	7	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	8	色彩心理 アートセラピー	色彩演習		
	9	色彩心理 アートセラピー	色彩演習		
	10	テスト	確認テスト		
	11	検定試験	モジュール1受験		
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	セルフビューティ(コース選択) インナービューティ		指導担当者名	①篠原 大智 ②菅野 元美	
実務経験	①ホテル調理実務経験22年 ②美容師実務経験1年			実務経験:	①有 ②有
開講時期	通年	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科3年		
授業方法	講義:○	演習:◎	実習:	実技:	
単位数	3 単位	総時間	90 時間	週時間数	3 時間
学習到達目標	「料理のインナービューティ」とは、単に見た目や味だけでなく、体の内側から美しさを引き出すことを目的とした料理のことを指します。これは、美容や健康に良い食材を使い、体の調子を整えることで、肌や髪的美しさ、代謝、ホルモンバランスなどを改善しようという考え方に基づいています。				
評価方法 評価基準	出席率、授業態度、提出物、テスト				
使用教材	資料プリントを配布				
授業外学習 の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 通 年	1	甘酒スムージー	発酵食品(腸内環境を整える)		
	2	季節野菜のドライカレー	スパイスには、健康・美肌のために利用されている		
	3	キムチと豆腐のチゲスープ	発酵食品(腸内環境を整える)		
	4	基本メイクアップ方法	メイク道具一式		
	5	豆腐ハンバーグ(きのこあんかけ)	高タンパク・大豆製品(肌・髪・爪の材料)		
	6	トレンドメイク	メイク道具一式		
	7	いわしの梅煮+玄米定食	良質な脂・オメガ3脂肪酸(ホルモン・肌の潤い)		
	8	ブリスボール、バナナマフィン	米粉を使い糖質を減らしている		
	9	雑穀ごはんのおにぎり+味噌汁	食物繊維(便秘改善・デトックス)		
	10	確認テスト	確認テスト		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ブライダルVMD	指導担当者名	市川 美佳
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科4年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	ディスプレイの知識やセンスを身に付け、ブライダルの仕事の現場で役に立つスキルを身に付ける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」の必要ページコピー、授業時間内の資料配		
授業外学習 の方法	ブライダルの雑誌などからディスプレイされているものを見ておく。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	オリエンテーション	VMDについて
	2	ディスプレイ・VP・VMD概論	ディスプレイ・VPについて
	3	ディスプレイ・VP・VMD概論	リテールディスプレイについて
	4	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルマーチャンダイジングについて
	5	ディスプレイ・VP・VMD概論	ビジュアルプレゼンテーションについて
	6	ディスプレイ・VP・VMD概論	什器・器具・マネキン・ボディ・オブジェについて
	7	企画・実技	テーマ別ディスプレイの企画・実技
	8	ディスプレイ制作	グループごとに企画書を作成
	9	ディスプレイ制作	材料の準備
	10	ディスプレイ制作	制作
	11	プレゼン	制作のプレゼンテーション
	12	ブライダルサロンディスプレイ	衣装ディスプレイ
	13	ブライダルサロンディスプレイ	小物、ウエディングアイテム
	14	ブライダルサロンディスプレイ	ウエルカムボードについて
	15	ディスプレイ・VP・VMDの実際	ディスプレイ・VP(ウインドーディスプレイ)
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	エディトリアル	指導担当者名	阿部 高広
実務経験	映像会社実務経験6年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科4年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	3 単位	総時間	90 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	撮影や映像編集の技術を学び、ブライダル業界での仕事に役立てる。		
評価方法 評価基準	授業態度、作業効率、作品等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	一眼レフカメラ、パソコン、iPad		
授業外学習の方法	動画を観る。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリエンテーション	講師紹介
	2	結婚式の映像	鑑賞
	3	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	4	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	5	カメラでの撮影・編集	一眼レフを使い撮影・編集
	6	フォトエディング 新郎新婦ヒアリング①	打合せ
	7	フォトエディング 新郎新婦ヒアリング②	打合せ
	8	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	9	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	10	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	11	ロケーション確認・撮影練習	外部会場やロケーションで撮影練習
	12	フォトエディング	外部会場やロケーションで撮影
	13	編集作業	撮影した写真の編集
	14	撮影写真確認会	撮影した写真の確認・反省点
	15	期末テスト	一眼レフを使い撮影・編集についてのテスト
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名	ブライズビューティⅡ	指導担当者名	海野 あずみ
実務経験	美容師実務経験3年 ブライダルヘアメイク実務経験15年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	ビューティビジネス・情報大学科4年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
単位数	1 単位	総時間	30 時間 週時間数 2 時間
学習到達目標	ブライダルの現場で使うヘア・メイクの技術を身につける。		
評価方法 評価基準	出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	LedomメイクBOX		
授業外学習の方法	予習復習をする。		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	基本アップ方法	ウィッグを使用して練習
	2	ホットカーラーの巻き方	ウィッグを使用して練習
	3	コテの使用方法	ウィッグを使用して練習
	4	ブラッシング種類を知る、束ね方	ウィッグを使用して練習。ヘアゴム準備
	5	ピンの種類を知る、ピンの止め方	ウィッグを使用して練習。ヘアピン準備
	6	編み込む(三つ編み)	ウィッグを使用して練習
	7	編み込む(表編み込み)	ウィッグを使用して練習
	8	編み込む(裏編み込み)	ウィッグを使用して練習
	9	編み込む(ローブ編み)	ウィッグを使用して練習
	10	テスト	相モデルでドレスに合わせたヘアを作る
	11	ハーフアップ	ウィッグを使用して練習
	12	トップアップ	ウィッグを使用して練習
	13	ドレス着装 ヘアメイク	相モデルで実践
	14	和装花嫁 ヘアメイク	相モデルで実践
	15	まとめ	和装・洋装花嫁実践
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。			